

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10 (6)	運営推進会議等、利用者・家族が発言する機会を設けているが、まだまだ十分に要望を引き出せていない。	利用者・家族の発言の機会を増やし、より多くの要望を引き出す。	運営推進会議や手紙等を通して、ホーム側より様々な問題提起、相談などを利用者・家族に持ちかけ、一緒に解決していく。また、三者のみで解決が難しい場合は、外部者(行政等)へ意見を求め、協力を依頼する。	12ヶ月
2	35 (1 3)	火災想定避難訓練は行っているが、それ以外の災害に対するものがまだまだ不十分。	地震・水害など、様々な災害に対応できる準備を「ソフト」、「ハード」の両面で整える。	地震・水害を想定し、シミュレーションのみではなく、実際の避難訓練を行う予定。また、家具の固定など「今出来ること」を行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。